

| 基幹科目〈観光〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
|----------|-----|----|--------------------------|------|-----|------|
| 国際観光交流論 | | | 13427 | I | 秋 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 青木 幹生 | 選択 | 2 | 旅行会社、ホテル、海外添乗、海外駐在、通訳ガイド | | | |

授業の到達目標

観光先進国フランスの現状を学び、フランスと比較しながら日本の観光行政、観光資源・宿泊・交通・見本市・国際会議場・エンタテインメントなどの各インフラの問題点を探る。
このクラスではKAISEIパーソナリティのIn(国際性)を養う。
世界観光機関(UNWTO)や国土交通省、観光庁のデータをもとにフランス、イタリア、スペイン、アメリカなどの先進事例を参照し日本の現状と今後の歩むべき方向を考える。

授業の概要

このクラスではKAISEIパーソナリティのIn(国際性)を養う。視座を観光先進国フランスおよびヨーロッパの観光先進国に定め日本の観光資源・観光行政・観光産業を俯瞰する。世界観光機構(UNWTO)、OECD、日本の観光庁などのデータを基に日本の観光政策、国際観光、Two-way Tourismの意味、Outbound、Inboundの健全なバランス、Tourism Exchangeの実例、国際交流の意義を理解する。

授業計画

1. 国際観光交流論概要、フランスはどのような国か？観光立国とは何か、シラバス概要、教科書、評価方法、講師プロフィール
2. 観光大国を支える組織ー観光行政の組織
3. 観光大国フランスから学ぶこと。観光産業の地位、産業としての国際観光
4. フランスの魅力、日本の魅力、外国人からみた日本の魅力と問題点。クールジャパン
5. 国際観光客到着数ランキング、外客誘致法、ウエルカムプラン21、新ウエルカムプラン、ビジットジャパンキャンペーン
6. フランス人のバカンス実態、バカンスを支える制度、OECD先進国のバカンスと労働時間
7. 日本の余暇事情、休暇に対する日本人の考え方、労働時間の国際比較、日本の労働問題、観光大国の条件
8. ヨーロッパの出国率、日本の出国率、低迷する日本のアウトバウンド
9. 国際観光交流と観光産業、MICE、おもてなし、国際会議場、Two-way tourism 21
10. フランスの観光関連インフラ(宿泊、交通、見本市・国際会議場)
11. 国際観光交流とはなにか。姉妹都市、音楽祭、映画祭、フェスティバル、スポーツイベント

12. 観光産業とIT革命、マルチメディアとツーリズム
13. 持続可能な開発、環境とツーリズム、オーバーツーリズム問題
14. フランスの問題点、まとめ(結論)
15. 総まとめの後定期試験60分

授業の方法

教科書を必ず一読しておくこと。煩雑なデータは無視して最後まで読み通しアウトラインを理解しておくことが重要。国際性を養うため海外からの目線で日本を客観視する習慣を身につける。

準備学修

各種メディアを通じて日ごろから世界や日本の観光業界の動きなど情報収集すると楽しく学ぶことができる。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

止むを得ない欠席以外は認めない。授業中の活動に重点を置いてるので、遅刻、欠席は減点の対象になる。

テキスト

観光大国フランスーゆとりとバカンスの仕組みー(現代図書) 青木幹生著 教室で直接販売する。割引価格2000円

参考図書

『平成24、25、26年度版観光白書』国土交通省編
『やさしい国際観光』財団法人国際観光サービスセンター、岐部武、原 祥隆著

留意事項

与えられた課題に取り組み結果を教室でグループ発表してもらう。双方の実りある授業を目指したい。

教員連絡先

aokimikio@aol.comまたはaokimikio0915@gmail.com

オフィスアワー

出講日の講義前後の時間

| 基幹科目〈観光〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
|----------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 観光文化地理論 | | | 13838 | I | 秋 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 釜須 久夫 | 必修 | 2 | 旅行会社勤務 | | | |

授業の到達目標

海外旅行地理の基礎と海外の国々の観光・歴史・宗教・文化に関する知識を学び、このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とIn(国際性)を養う。

授業の概要

海外の国々を、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア、中東、アフリカ等に分けて、世界の国、都市、地域、島、観光ポイントなどの必修知識を学習する。また同時に地図、写真、動画などのビジュアル資料から現地情報を学習する。

授業計画

1. [アジア] 韓国・台湾・中国
2. [アジア] 香港・マカオ・モンゴル・フィリピン
3. [アジア] ベトナム・ミャンマー・カンボジア・タイ
4. [アジア] マレーシア・シンガポール・インドネシア・インド・ネパール
5. [アジア] スリランカ・モルディブ・パキスタンアフガニスタン・カザフスタン・ウズベキスタン・その他の国々
6. [ヨーロッパ] 英国・アイルランド・ベルギー・オランダ
7. [ヨーロッパ] アイスランド・ノルウェー・スウェーデン・フィンランド・デンマーク・ドイツ
8. [ヨーロッパ] スイス・オーストリア・リヒテンシュタイン・フランス・モナコ
9. [ヨーロッパ] イタリア・バチカン市国・マルタ・スペイン・ポルトガル・ギリシャ
10. [ヨーロッパ] ポーランド・チェコ・ハンガリー・ブルガリア・ルーマニア・ロシア・その他の国々
11. [南北アメリカ] 米国・カナダ
12. [南北アメリカ] メキシコ・キューバ・ベルー・ブラジル・アルゼンチン・その他の国々
13. [オセアニア] オーストラリア・ニュージーランド・グアム・フィジー・その他の国々
14. [中東・アフリカ] トルコ・イスラエル・アラブ首長国連邦・エジプト・南アフリカ・その他の国々
15. 「総括」と試験

授業の方法

学習内容とリンクして、問題集や地図・写真・動画などのビジュアル資料を通して現地情報を学習する。

準備学修

事前に指示された箇所を予習、復習してくること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は原則として認めない。欠席の場合は原点の対象とする。

テキスト

『海外旅行実務 海外観光資源』JTB総合研究所
『海外観光地理 サブノート』JTB総合研究所

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

| | | | | | | |
|------------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 基幹科目〈観光〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| Business English | | | 13935 | Ⅱ | 秋 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 釜須 久夫 | 選択 | 2 | 旅行会社勤務 | | | |

授業の到達目標

このクラスではKAISEIパーソナリティのIn（国際性）を学ぶ。CDを聴きネイティブスピーカーの英語に慣れるようにする。ビジネスで実際に使われる慣用的な表現を学ぶ。TOEIC受検対策を兼ねている。また就活の社会常識として、実社会の現状について具体的に解説する。

授業の概要

仕事の仕組みや、標準的なビジネス・コミュニケーションを学ぶ。Fax,e-mail,ビジネスレター、封筒書き、ファイリング、などのオフィスワークの常識的な事務についても学ぶ。

授業計画

1. 講義概要、教科書、評価方法、シラバス（講義計画）
2. Unit 1. Job Hunting(1), Writing a resume
3. Unit 2. Job Hunting(2), Writing an application letter
4. Unit 3. Job Hunting(3), Arranging an interview
5. Unit 4. Job Hunting(4), A job interview
6. Unit 5. Job offer
7. Unit 6. The first day at work
8. Unit 7. Preparing to work
9. Unit 8. Telephoning (1) Answering
10. Unit 9. Telephoning (2) Taking a message
11. Unit 10. Telephoning (3) Making an appointment
12. Unit 11. Visiting a client
13. Unit 12. Receiving a visitor(1) Preparation
14. Unit 13. Receiving a visitor(2) Meeting at Narita Airport

15. 総括 & 試験

授業の方法

シラバス通りに進むので予習、復習を励行すること。

準備学修

予習、復習の励行

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

教室での学習に50%の評価をしているので欠席は減点の対象になる。

テキスト

「Business Talkやさしいオフィス英語」城由紀子、島田拓司、Edward J. Schaefer著、成美社

参考図書

「国際秘書英語」亀山和夫、成美社
「国際ビジネスコミュニケーション入門」亀山和夫、八尾 晃共著、成美社

留意事項

毎回予習、復習を励行すること。単語テストを随時行うので普段から正確に単語を書けるようにしておくこと。

教員連絡先

sam@alohawalker.net

| | | | | | | |
|---------------------|-----|----|--------------------------|------|-----|------|
| 基幹科目〈観光〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| English for Tourism | | | 13937 | Ⅱ | 春 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 青木 幹生 | 選択 | 2 | 旅行会社、ホテル、海外駐在、海外添乗、通訳ガイド | | | |

授業の到達目標

観光産業に必要な基本的英語を修得する。
観光英検3、2級レベル
KAISEIパーソナリティのIn国際性を学ぶ

授業の概要

駅、空港、ホテル、レストランなど各場面で必要な基本的な英語を学ぶ

授業計画

1. 講義概要（講師プロフィール紹介、観光英語とは、シラバス、教科書、参考書、授業の進め方、予習・復習、授業の規律）
2. Lesson 1: Tokyo Station
3. Lesson 2: Exploring Metropolitan Tokyo
4. Lesson 3: Restaurant at Ginza
5. Lesson 4: Kakunodate, a town of Samurai and Cherry blossoms
6. Lesson 5: Old Private Houses in Takayama
7. Lesson 6: Hatcho Miso in Okazaki
8. Lesson 7: Toyota Automobile Museum
9. Lesson 8: Cormorant Fishing
10. Lesson 9: Uji Byodoin
11. Lesson 10: Kyoto Studio Park
12. Lesson 11: International Phone Calls
13. Lesson 12: Bakery Shops in Kobe
14. Lesson 13: White Heron Castle
15. 総まとめのあと定期試験60分

授業の方法

教科書付属のCDを活用して授業を行う。

準備学修

教科書及び付属のCDを活用して予習・復習をすること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

減点対象になる。

テキスト

Discovering Japan through Tourism English「観光英語で日本発見！」英宝社
著者：河原俊昭、榎木蘭鉄也、岡戸浩子、小宮富子、吉川 寛、石川有香、徳地慎二、ジェームス・ドレイトン

参考図書

観光英語検定試験全国語学ビジネス観光教育協会が実施している民間資格の観光英語検定試験2級、3級問題集
旅行会社、ホテル、観光案内書などにあるインバウンド用の英語観光パンフレットは参考になるので各自入手して活用すること。

留意事項

予習・復習の励行。欠席、遅刻、授業中の怠慢は減点対象になる。随時単語テストを実施するので英単語の綴りを正確に覚えること。

教員連絡先

aokimikio0915@gmail.comまたはaokimikio@aol.com

オフィスアワー

出講日講義の前後の時間